

APNet ニュースレター

—Advanced Power Network—

Vol.150 (2021年11月号)

発行
次世代電力ネットワーク研究会



一般財団法人 エネルギー総合工学研究所

<今月の注目点>

- ・海外ニュースは、中国の電力不足と欧州のガス不足に関する記事を冒頭に配しました。
両地域の燃料不足には関連があります。その他、欧州を中心に世界最長海底連系線運開、太陽光と風力のメガハイブリッド計画、グライダーを使った魚調査などの記事を紹介しします。
- ・国内ニュースは、再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会から「再エネと共生する地域社会の構築」、定点観測している 2021 年度冬季の電力需給見通しについてお伝えします。懸念されている 2022 年 1～2 月の首都圏の kW 予備率は 3%台です。
11 月 29 日開催の APNet シンポジウムのご案内もご覧ください。

目 次

1	海外ニュース	- 1 -
1.1	中国の電力供給制限が及ぼす全ての人々への影響は	- 1 -
1.2	欧州のエネルギー危機、化石燃料安定の考えは幻想（再エネ擁護派）	- 2 -
1.3	欧州、自業自得のエネルギー危機（再エネ懐疑派）	- 3 -
1.4	韓国政府が 2050 年までに石炭火力発電の段階的廃止を承認	- 4 -
1.5	仮想慣性力を提供する 50MW バッテリープロジェクトが豪州で試運転開始	- 5 -
1.6	モロッコで太陽光+風力のメガハイブリッド計画 電力は英国へ輸出される	- 6 -
1.7	世界最長の海底連系線が運開	- 7 -
1.8	鉄鉱石の億万長者が 2GW の水電解工場を計画、後に風車や太陽光パネルも製造	- 7 -
1.9	英オークニー諸島でグリーン水素開発のコンソーシアムを Macquarie が主導	- 8 -
1.10	海洋のグライダーが Hywind Scotland 海域の魚のデータを収集	- 9 -
2	国内ニュース	- 10 -
2.1	今月のシステムの制度改革の動向 Watching	- 10 -
2.2	APNet シンポジウムのご案内	- 12 -
3	事務局後記：間もなく半世紀	- 14 -